

KAWASEE HASUI

2024

10

• 5

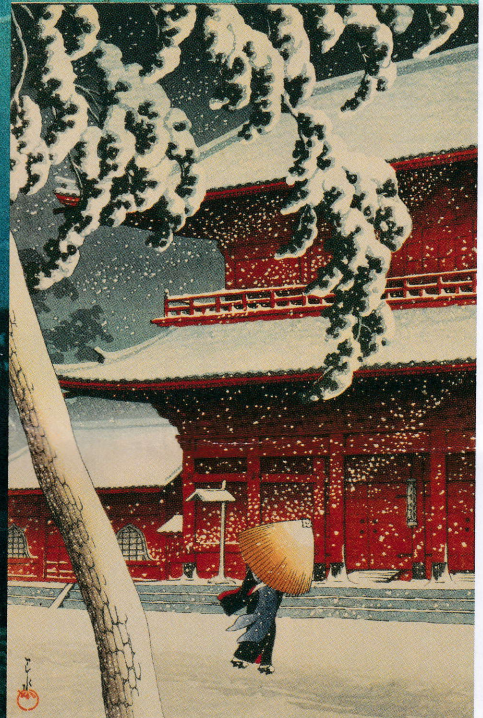
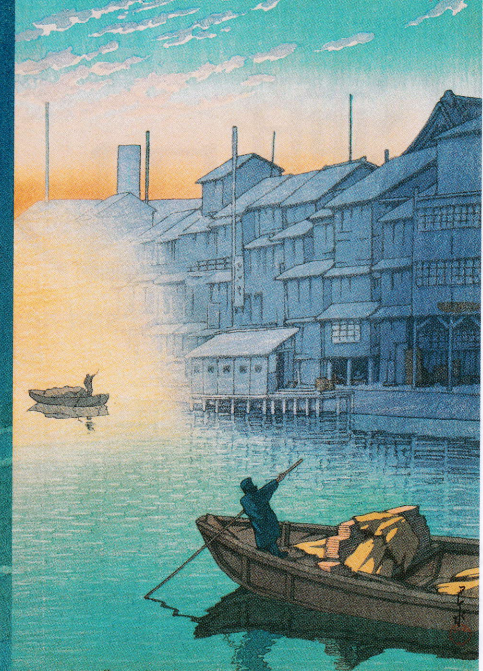
sat

▼ 12

• 2

mon

〔火曜日休館〕



川瀬巴水

特別展

旅と郷愁の風景

Travel and nostalgic landscape

〔開館時間〕午前9時30分～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで [会場]大阪歴史博物館 6階 特別展示室

〔観覧料〕〔特別展のみ〕大人 1,300円(1,170円)、高校生・大学生 700円(630円)〔常設展との共通券〕大人 1,770円(1,710円)、高校生・大学生 1,030円(990円)

※()内は20名以上の団体割引料金 ※中学生以下、障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

〔主催〕大阪歴史博物館、読売新聞社 [共催]NHKエンタープライズ近畿 [後援]公益財団法人 大阪観光局、NHK大阪放送局

〔特別協力〕渡邊木版美術画舗 [資料提供]大田区立郷土博物館 [企画協力]ステップ・イースト



大阪歴史博物館
Osaka Museum of History

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 TEL 06-6946-5728 FAX 06-6946-2662

<https://www.osakamushis.jp/>

〔アクセス〕Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅 ②号・③号出口 / 大阪シティバス「馬場町」バス停前

川瀬巴水

特別展

旅と郷愁の風景

Travel and nostalgic landscape

KAWASEE HASUJI

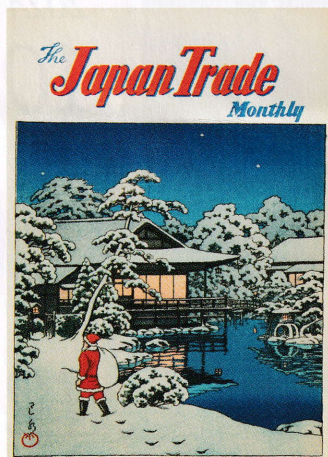
大正から昭和にかけて活躍した木版画家・川瀬巴水(1883-1957〔明治16-昭和32〕年)。近代化の波が押し寄せ、街や風景がめまぐるしく変貌していく時代に、巴水は日本の原風景を求めて全国を旅し、庶民の生活が息づく四季折々の風景を描きました。巴水とともに木版画制作の道を歩んだのが、新時代の木版画「新版画」を推進した版元の渡邊庄三郎(現・渡邊木版美術画舗初代)や彫師、摺師といった職人たちです。四者は一体となって協業し、伝統技術を継承しながらもより高度な技術の活用を求めました。そして新たな色彩や表現に挑み続け、「新版画」を牽引する存在として人気を博します。

本展では、季節や天候、時の移ろいを豊かに表現し「旅情詩人」とも呼ばれた川瀬巴水の木版画家としての生涯を、初期から晩年までの代表的な作品とともに紹介します。まとめて観る機会の少ない連作(シリーズ)も含め約150点を展示し、叙情的な巴水の世界へと誘います。



《大阪右衛門町の夕》日本風景集II 関西篇 1933(昭和8)年4月

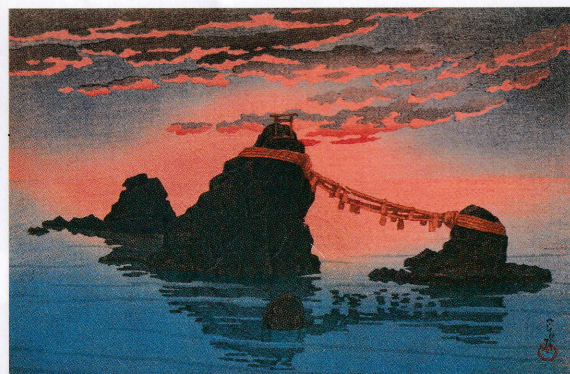
1921(大正10)年以降、巴水は関西を幾度か訪れ、その風景を連作に描いています。その中には大阪の風景も含まれています。



《"The Japan Trade Monthly"表紙(No.68)》
The Japan Trade Monthly 1950(昭和25)年



《木場の夕暮》東京十二題 1920(大正9)年秋



《二見ヶ浦》日本風景集II 関西篇 1933(昭和8)年5月

「新版画」とは？

大正から昭和にかけて興隆した多色摺木版画です。浮世絵の伝統技術を継承しつつも新しい表現を取り入れ、絵師、彫師、摺師、版元による協業で制作されました。



《西伊豆木負》1937(昭和12)年6月

※掲載作品は、すべて版元・渡邊木版美術画舗蔵

スティーブ・ジョブズも魅了した巴水

巴水の作品は戦前・戦後を通じて、海外でも人気がありました。近年では、アップル・コンピュータの共同創業者であるスティーブ・ジョブズが、日本の新版画を愛し、特に川瀬巴水を好んでコレクションしていました。

電車・バスでお越しの方

Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅
②・③ 号出口
大阪シティバス「馬場町」バス停前



大阪歴史博物館
Osaka Museum of History

